United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

１．学校概要

学校名　江田島市立三高中学校
種　別　☐保育園・幼稚園　☐小学校　☐小中一貫教育
☑中学校　☐中高一貫教育　☐高等学校
☐教員養成　☐技術/職業教育
☐特別支援学校　☐その他（　　）
所在地　〒７３７－２３１６
広島県江田島市能美町三吉２６９９
E-mail　mitaka-chu@edc.etajima.hiroshima.jp
Website　http://www.edc.etajima.hiroshima.jp/~mitaka-chu/
児童生徒数　男子　２２名　女子　１９名　合計　４１名
児童・生徒の年齢１３歳～１５歳

２．実施活動（複数選択可）

☐　地球規模の問題に対する国連システムの理解
☑　国際理解
☐　世界遺産
☑　平和・人権
☑　環境
☐　気候変動
☑　生物多様性
☐　エネルギー
☑　防災
☑　食育
☑　伝統文化
☐　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

「環境学習」,「平和・人権学習」,「伝統文化・国際理解学習」,「食育」の視点を中心に，地域に誇りをもち，地球的視野で未来を考え，地域のために社会貢献できる生徒の育成をめざした取組を行った。特に,「つながり」「かかわり」をキーワードに，互いに認め合い，高めあう話合い活動ができる学習集団の育成に努めた。また，地域の人材・自然や専門機関の教育力を活用し，問題解決的な学習を行った。

今後，総合的な学習の時間や教科等との連携を更に整理し，生徒が地域環境の課題に向き合い，多様な価値観を認め尊重しながら，解決策を考え，実践していけるような学習を展開していきたい。

①　「環境学習」の取組

２学年において，専門機関と連携し，地域に流れる川の「水生コウチュウ相の解明」をテーマに調査を行った。平成２６年１０月から調査を開始し，平成２７年９月に１年間のデータを取り終えた。結果をもとに２学年が１人１論文を作成した。生徒は協力してフィールドワークに取り組み，協調的な姿勢・態度を育むとともに，論文作成を通して科学的なものの見方・考え方を養った。次年度，明らかになったことをもとに地域環境保全の発信・提言を行ったり，新たな課題を明らかにしていきたい。

②　「平和・人権学習」の取組

年間を通して，特別活動や各教科において話合い活動を充実させ，生徒が主体的に学ぶ態度を育み，思考力・判断力・表現力等を高めた。

８月６日に全学年が登校し，生徒会主導で平和学習を行った。平和学習では，テレビ視聴，黙とう，合唱，折鶴作成等を行った。

９月に江田島市小・中学校全体で「いじめ撲滅月間」を実施した。本校では，生徒会主導で「三高中学生一人ひとりが愛や平和を感じられる」をテーマにしたポスター作成を夏期休暇の宿題で取り組み，提出された作品を掲示した。さらに，認め合う集団づくりを目指し，生徒会の取組で「相手が言われて嬉しいことを伝えよう」をテーマに「ハートのなる木」を掲示した。それぞれの活動は，生徒が人権や平和について考える機会となるとともに，互いに認め合い，高めあう学習集団の育成につながった。

③　「伝統文化・国際理解学習」の取組

全学年が１年を通して地域の方から茶道を学んだ。また，各教科で箏，書道等日本の伝統文化に関する内容を学んでおり，１０月の学習発表会でお茶を点てたり，演奏を披露したり，書道を掲示発表したりした。

１０月にはＡＳＥＡＮ交流事業があり，ラオス，ミャンマーから１２名の留学生が三高中学校に来校した。「日本の伝統文化の体験」をテーマに，地域の方を講師に招き絵葉書をかいたり，書道に挑戦したり，箏を弾いたりした。生徒はジェスチャーや英語を用いて留学生にやり方を教えたり，一緒に取り組んだりして，文化交流や国際理解を深めた。ＡＳＥＡＮ交流の留学生受け入れにかかわり，国立江田島青少年交流の家の江田島海色交流事業に２学年の男子２名・女子３名が参加し，島内４中学校及び１高校の生徒と交流を深め，リーダーとしての資質・能力を養った。

④　「食育」の取組

全学年自主参加型で，食育応援団を結成し，野菜の栽培や収穫，調理を行った。地産地消で安全・安心な野菜を使用しての調理を楽しむとともに，地域の方との関わりやつながりを大切にしながら，自分たちの野菜を育てることで，責任感や主体的に考え行動する生徒の育成につながった。

農園で採れた野菜を使って総合的な学習の時間に，各学年で「マイ弁当作り」を行った。自分たちで献立を考え，地域の方と一緒に調理をすることを通して，感謝の心を持ち，心身の成長や健康の保持増進のために望ましい栄養や食事のとり方を理解することができた。

夏休みにはサマーコンサートがあり，食育応援団で収穫した野菜を調理し，地域の方や家族・兄弟，卒業した先輩方に振舞っている。様々な活動を通して，主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度を養った。

１年生を対象に，地域の食生活改善推進員の方を招き，三高の郷土料理である「もぶり飯」「アジの塩焼き」「きゅうりの塩昆布和え」「かきたま汁」を作った。もぶり飯には９種類の食材（えび，油あげ，たけのこ，ごぼう，こんにゃく，にんじん，干し椎茸，切り干し大根，いんげん）が入っており，もぶりとはおいしいものがご飯の中にもぐっているという意味であると聞き，生徒は興味関心を強く抱き，質問をたくさんするなど積極的な姿が見られた。アジは１人１匹ずつさばき，初めての体験をとても楽しそうに行っていた。地域の方と一緒に郷土の料理を会話を楽しみながら調理し食べる経験は，郷土愛を育み，尊重する心を持つ大きなきっかけとなった。

全学年を対象に，地域の食生活改善推進員及び茶道師範を招き，地域で採れたさつまいもを使用した和菓子を作り，その和菓子を茶道の時間にお茶を点てながら頂いた。和菓子を自分たちで作ることで，調理する楽しみと食べ物への感謝の気持ちを育てること，お茶に親しむことであいさつがしっかりでき，感謝の心や物を大切にする心を育てることをねらいとして行ってきた。学習を通して，地域の人たちとつながりを持ち，伝統となっていることに充実感が見られた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☑ **通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）**
- ☑ **時間外活動の時間を使用**
- ☐ **ユネスコクラブの活動として実施**
- ☐ **その他（　　）**